

## 概要報告書

事業種別	県域安全事業
団体名	C A Pみやぎ
事業名	被災地における児童虐待予防・啓発事業
被災地における児童虐待予防・啓発事業として、C A Pプログラムの実施と、啓発とプログラムの復習を兼ねた冊子を作製し配布しました。『C A P』は子どもがいじめや誘拐、虐待などから、自分で自分の心と体を守る方法をワークショップという手法で伝えます。震災から3年を迎え、なかなか変わらない環境や大人の事情に巻き込まれるなど、子ども達の心も複雑に揺れています。子ども達が抱える不安を勇気に変え、生きる力と希望を引き出すことを目的に取り組みました。C A Pプログラムの実施は、5月～2月まで。子ども対象ワークショップは、小学校、幼稚園において16回、大人向けワークショップは、一般公募の企画で4回実施し、総参加者数は大人と子ども合わせて369人でした。また、事業実施に関連して、事業運営会議とチラシ作製などの広報活動にも取り組みました。	
	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。